



Maker Faire Tokyoのご案内

株式会社オライリー・ジャパン

2019.02.26

Confidential

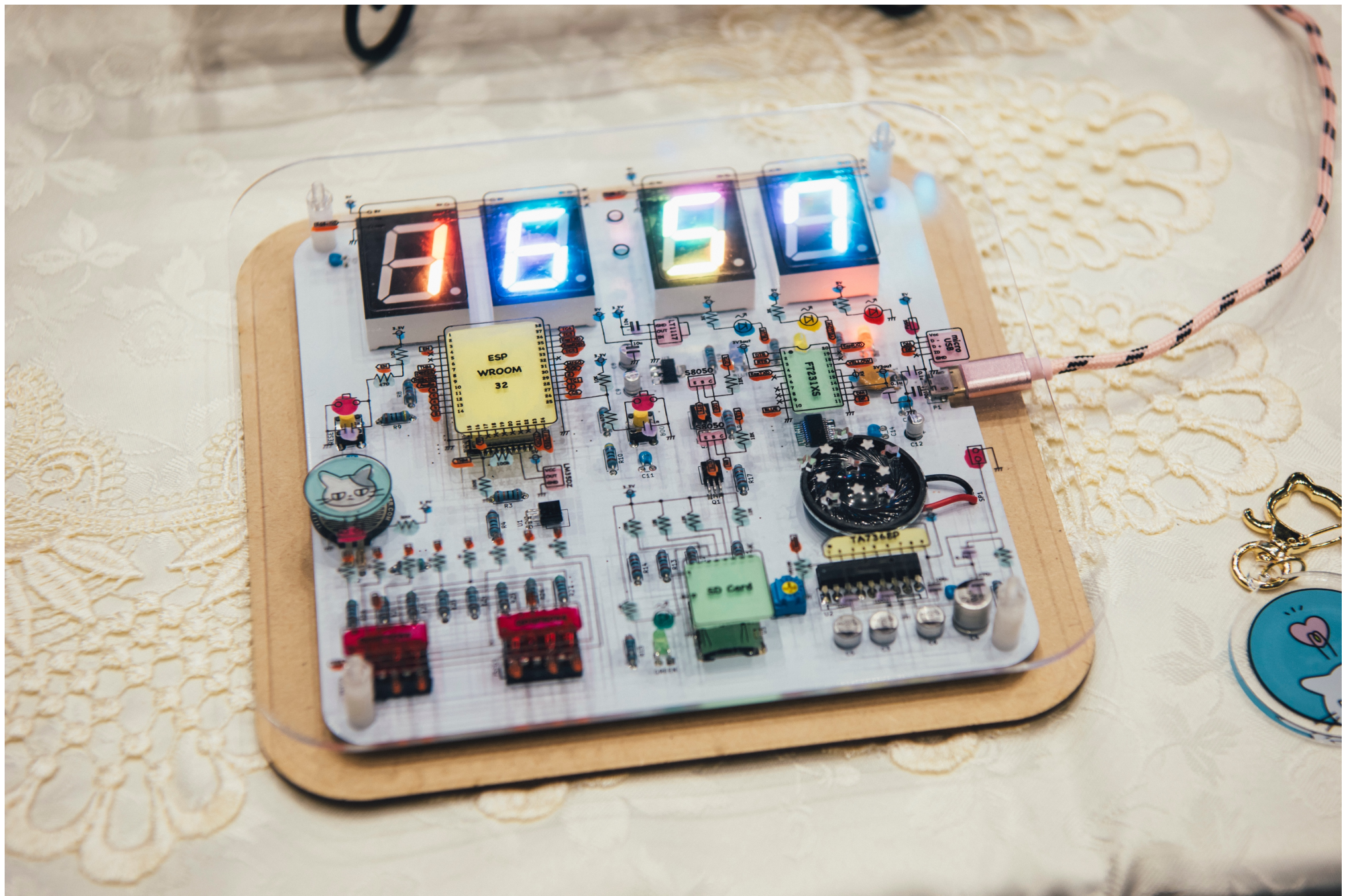
本資料には未発表・未公開の情報が含まれます。本資料の情報・掲載写真は、株式会社オライリー・ジャパンの許可なく、対外的に公開・転載することはできません。

O'REILLY®











イベントのご案内

オライリー・ジャパンについて

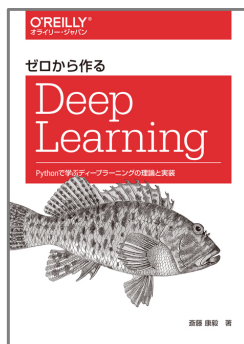
Make:



オライリー・ジャパンは、アメリカに本社を置く O'Reilly Media, Inc. の100%出資子会社として、主要なテクノロジー分野に関する技術書籍の出版活動を展開してきました。

2006年よりテクノロジーを使ったDIYを楽しむ人のための「Make: BOOKS」シリーズの出版をスタート。

2008年よりMaker Faire Tokyo（2012年にMake: Tokyo Meetingからリニューアル）を主催しています。



会社概要

社名 : 株式会社オライリー・ジャパン

設立 : 1995年12月12日

資本金 : 35百万円
(米国O'Reilly Media, Inc. 100%出資)

所在地 : 〒160-0002
東京都新宿区四谷坂町12番地22
VOLT四谷坂町 1F

事業内容 : コンピュータ技術書籍（電子書籍含む）の
翻訳/企画出版、Maker Faireの運営

関連会社 : O'Reilly Media, Inc.
Maker Media, Inc.
O'Reilly UK Ltd.
O'Reilly Beijing

Maker Faireについて

Make:

Maker Faireとは地上最大の（DIYの）展示発表会です。

人々が自分で作った物を見せ合う場所であり、自分が学んだことをシェアする場所でもあります。

2006年に米国サンフランシスコではじまったMakerたちの祭典 **Maker Faire** は、規模を世界中に拡大し、現在では**世界200か所**で開催されるにいたります。

フラグシップイベントのベイエリア（サンフランシスコ）、ニューヨークに加えて、2017年はローマ、カイロ、ニューカッスル、パリ、深セン、台北、そして東京などの主要都市でMaker Faireが開催されました。

Maker Faireの使命は、このコミュニティを、楽しませ、情報を提供し、結びつけ、より大きくすることにあります。



Maker Faire Tokyoについて

Make:

2008年から前身イベントMake:Tokyo Meetingを開催し、
今年で15回目、累計12万人以上が来場

全国や海外からMakerが一堂に会する、
日本最大のMakerムーブメントのお祭りです

個人の物作りにおける日本の中心コミュニティとしても
成長を続けています



個人から企業まで
多様なMakerとオープンに交流



最新のテクノロジーを使った
実験的な作品に出会う



子どもから大人まで参加できる
物作りワークショップ

“Maker Faire is the *intersection of*
science, art, and technology”

日本国内のMaker Faireの開催状況

Make:

地域の自治体・学校・企業・作り手が参加し、物作りの楽しさを共有するとともに新しい交流、アイデア、産業を育む場となることを目的に、主催団体の協力のもとMini Maker Faireを開催しています

- 京都府精華町：2019年5月にMaker Faire Kyotoを開催。主催：オライリー・ジャパン 後援：京都府、公益財団法人京都産業21、公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構、京田辺市、木津川市、精華町。
- 岐阜県大垣市：2010年にMake: Ogaki Meeting、2012年、2014年、2016年、2018年にOgaki Mini Maker Faireを開催。主催：Ogaki Mini Maker Faire 実行委員会。2018年来場者約7,000人、出展者143組
- 山口県山口市：2013年、2015年にYamaguchi Mini Maker Faireを開催。主催：山口市、公益財団法人山口市文化振興財団（山口情報芸術センター [YCAM] ）。2015年来場者約7,400人、出展者106組



2020年2月、つくば市での Mini Maker Faire 開催が決定！

詳細は順次、発表予定です

Maker Faire Tokyo 開催実績



昨年の開催概要

会期：2018年8月4日（土）12:00～19:00

8月5日（日）10:00～18:00

会場：東京ビッグサイト 西1・2ホール

後援：スマートIoT推進フォーラム

出展者数：600組

来場者数：24,000人（2日間計）

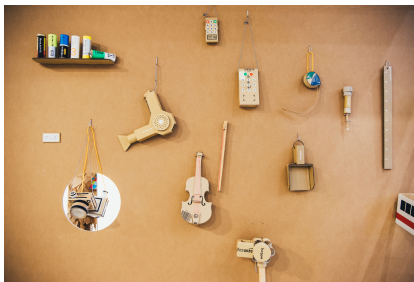
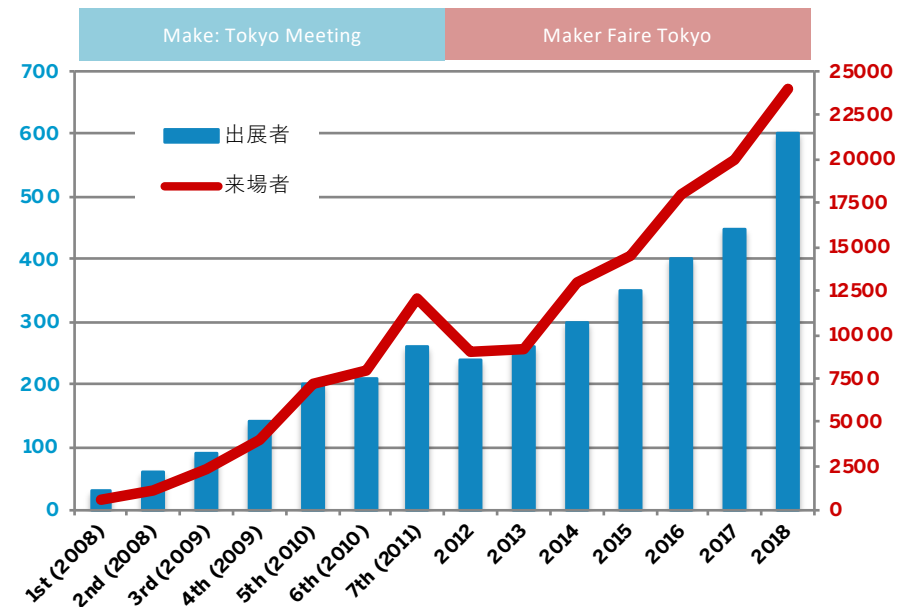
スポンサー：49社

Media & Community Sponsors：10団体

プレス来場者：約53媒体・83名（2日間計）

教育機関来場プログラム：計22校・教職員77名、生徒207名を招待（小学校1校、中学校3校、中高一貫校2校、高等学校4校、専門学校2校、大学6校、その他5校）

■Maker Faire Tokyo 来場者数推移



Maker Faire Tokyo 2018 ハイライト

Make:

特別企画

特別講演



パネルディスカッション



キッズスペース



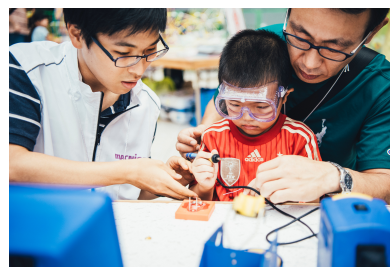
Young Maker Show & Tell



レース・競技会



ワークショップ・ハンズオン



ライブパフォーマンス



メディア掲載実績

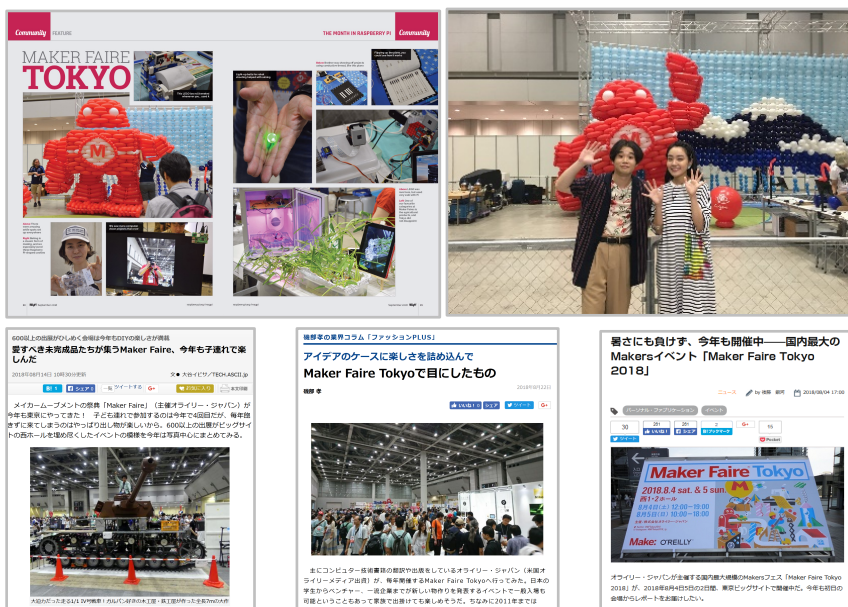
Make:

テレビ

- BS日テレ 8月28日（火）深夜0時00分～0時30分
「Innovative Tomorrow」番組内にて紹介
- NHK 9月1日（土）[総合] 午後5時30分～6時
連続テレビ小説「半分、青い。」特別番組内にて紹介

雑誌

- The MagPi Magazine, Issue 73
- 月刊I/O 2018年10月号
- ラズパイマガジン 2018年10月号



ウェブサイト

掲載情報 <https://makezine.jp/event/mft2018/media/>

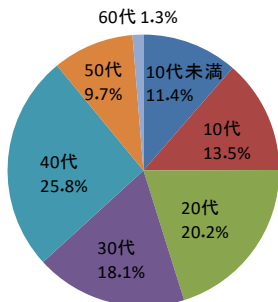
- vsmedia 4月5日「オライリー、「Maker Faire Tokyo 2018」の出展者募集を開始」
- Chiik! - 3分で読める知育マガジン 8月1日「親子で楽しめる世界最大のDIYイベント「Maker Faire Tokyo 2018」」
- JDN 7月18日「サンフランシスコ発の世界最大のDIYイベント「Maker Faire Tokyo 2018」が、8月4日から2日間にわたって開催」
- ICT教育ニュース 8月2日「テクノロジーの祭典「Maker Faire Tokyo 2018」4日・5日開催」
- fabcross 8月4日「暑さにも負けず、今年も開催中——国内最大のMakersイベント「Maker Faire Tokyo 2018」」
- IGN Japan 8月5日「動きに連動し光るグローブや個人用ホバークラフトが「Maker Faire Tokyo 2018」に登場」
- MONOist 8月7日「メイカーズから始まるイノベーション、ポイントは「やるかやらないか」
- Engadget 日本版 8月7日「地面を走る紅の豚？木製モノコック組み立て式EVカート「琵琶」。8月中には試乗会も。夏休みの課題に最適？：世永玲生の電網マイノリティ」
- Engadget 日本版 8月9日「Maker Faire Tokyo 2018レポート、ユルものからガチものまで趣味全開が面白い！：ウェブ情報実験室」
- BCN+R 8月13日「あのソニーまでイッチョカミする祭典、Maker Faire Tokyo 2018」
- RealSound 8月13日「ユニークな発想×テクノロジーが生む、驚きのアイテムが満載「Maker Faire Tokyo 2018」レポート」
- 週刊アスキー 8月14日「愛すべき未完成品たちが集うMaker Faire、今年も子連れで楽しんだ」
- マイナビニュース 8月17日「Maker Faire 2018 Tokyo 講演レポート「MakersからはじまるInnovation」」
- gihyo.jp 8月21日「Maker Faire Tokyo 2018で見かけたおもしろ作品30選」
- 商業界オンライン 8月22日「Maker Faire Tokyoで目にしたもの」
- ロボスタ-ロボット情報WEBマガジン 8月24日「キュウリ自動判別、たこ焼きロボ、クレープなど調理や農業でロボット・AIを使いこなすメイカーたち #MFT2018」

ATTENDEE : 来場者属性 (1)

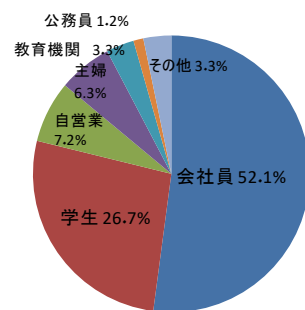
Make:

Maker Faire Tokyo 2018(2018年8月実施) 来場者アンケートより 会場でのアンケート用紙回収およびWebフォームからの回答/割合は未回答者を除く

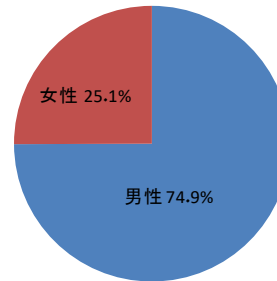
01. 年齢層 (N=465)



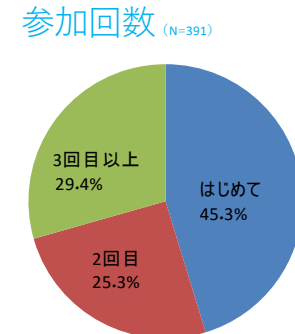
02. 職業 (N=430)



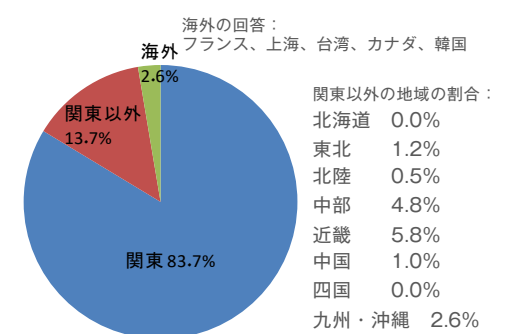
03. 性別 (N=452)



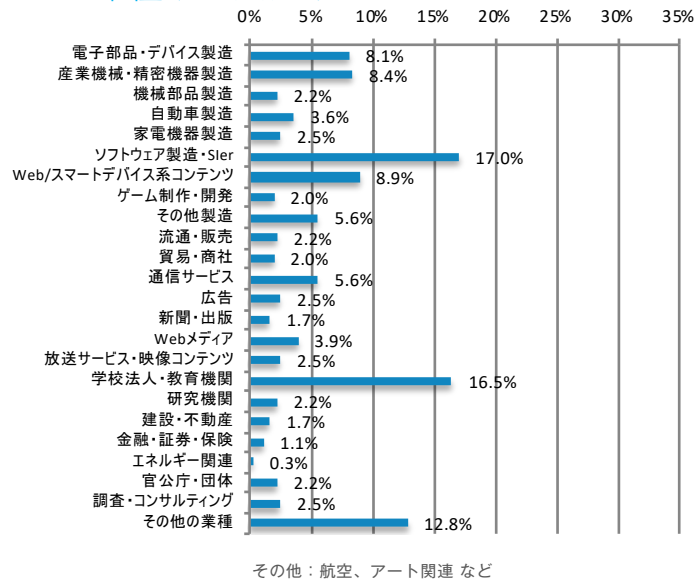
04. Make イベントへの参加回数 (N=391)



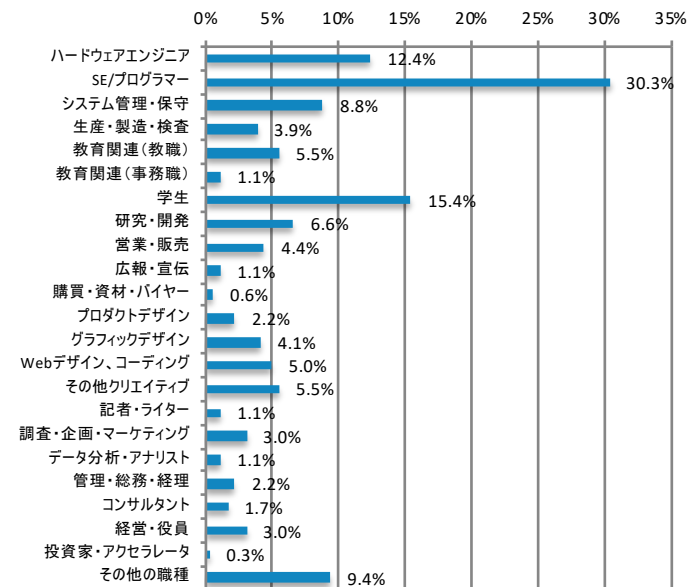
05. 居住地域 (N=416)



06. 業種 (N=423、複数回答あり)



07. 職種 (N=428、複数回答あり)

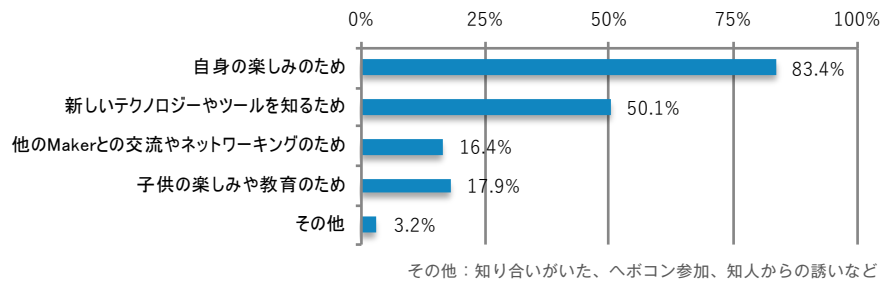


ATTENDEE : 来場者属性 (2)

Make:

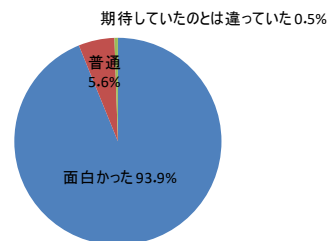
Maker Faire Tokyo 2018(2018年8月実施) 来場者アンケートより 会場でのアンケート用紙回収およびWebフォームからの回答/割合は未回答者を除く

08. Maker Faire Tokyoへの参加目的 (N=369・複数回答)

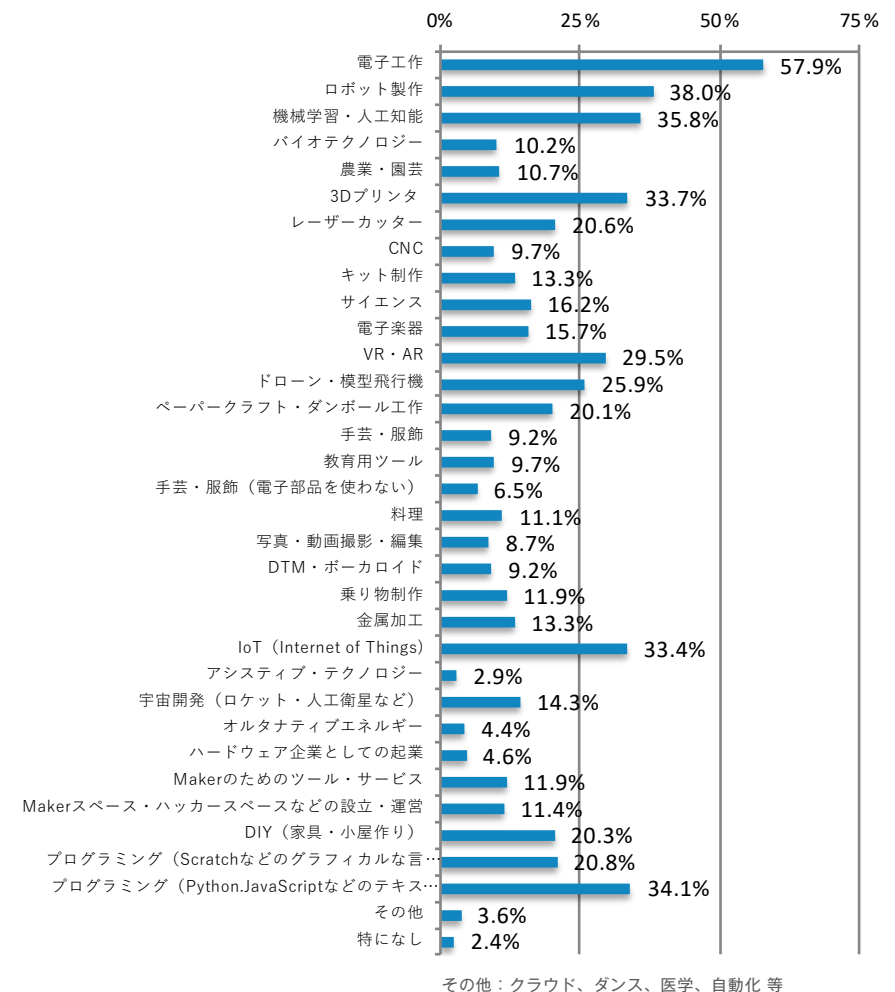


09. 2018年の感想 (N=369)

- ・ 技術的なところは分からないが、見ると面白い。
- ・ 来年も期待しています。
- ・ 地方でもやってほしい。
- ・ 毎年2日間来ています。2日間の通しチケットがあったら嬉しいです。海外のMaker Faireの様子も知りた。実際にツアーとかあったら面白そう。
- ・ 技術的なところは分からないが、見ると面白い。
- ・ 来年も期待しています。
- ・ 地方でもやってほしい。
- ・ 毎年2日間来ています。2日間の通しチケットがあったら嬉しいです。海外のMaker Faireの様子も知りた。実際にツアーとかあったら面白そう。



10. 現在興味があるもの (N=369・複数回答)



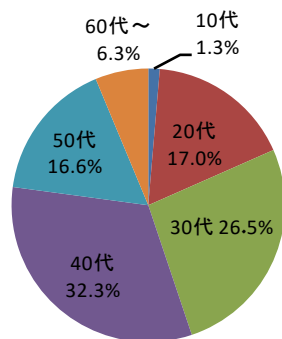
MAKER : 出展者属性 (1)

Make:

Maker Faire Tokyo 2018(2018年8月実施)出展者アンケート (Webフォームからの回答) および出展・協賛申込情報より／割合は未回答者を除く

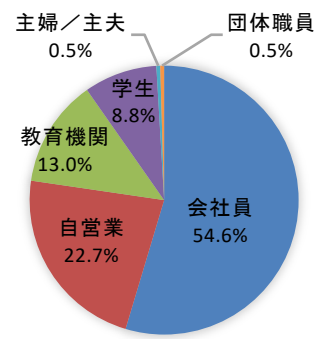
01. 年齢層

(N=223)



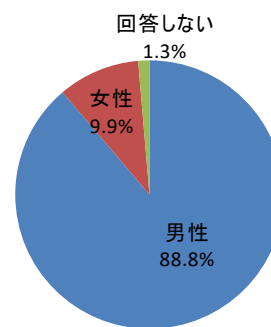
02. 職業

(N=223)



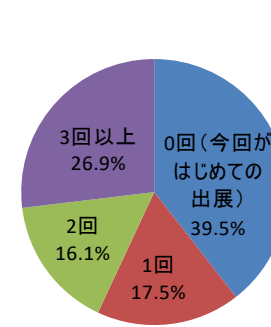
03. 性別

(N=223)



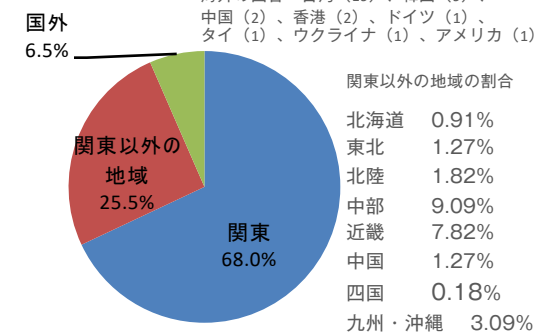
04. 過去の出展回数

(N=223)



05. 地域

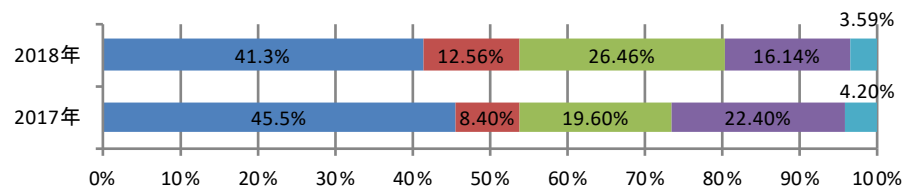
(N=550、スポンサー含む)



06. 作品を作る、またはプロジェクトを行う目的

(2018, N=223)

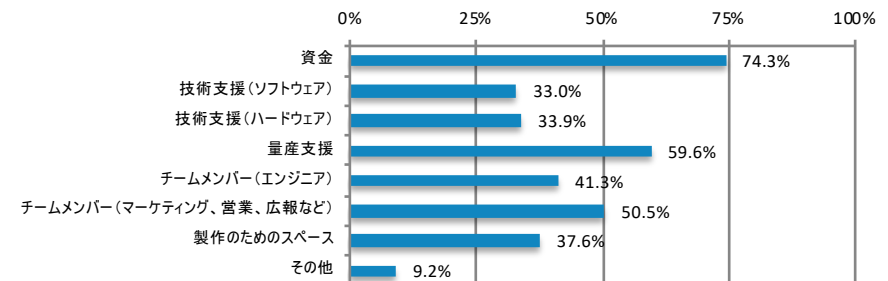
- ホビー (個人的な楽しみや学びのため)
- 現在はホビーが中心だが、今後起業を考えている
- 現在はホビーが中心だが、今後副業としてのビジネス化を考えている
- ビジネス・業務
- その他



その他：教育、将来の目標に向けて技術・経験等の向上、福祉関連の機器を製造するNPO設立のため、単身高齢者の見守り、技術や知識の普及、作品の販売、研究としてアート作品を作るため

07. 今後、ビジネスへの展開を考えている方にとって

ビジネスにするために必要なこと (N=109、複数回答)



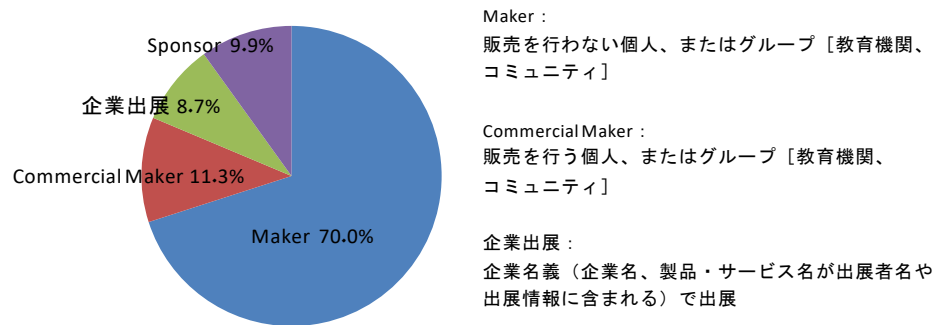
その他：特許調査及び申請、マーケティング方法、アイデア、ビジネスモデル、データ収集するための人脈、法律(電池・電源・製造物責任、工作機器(金工のFabがない)、革新的なアイデア

MAKER : 出展者属性 (2)

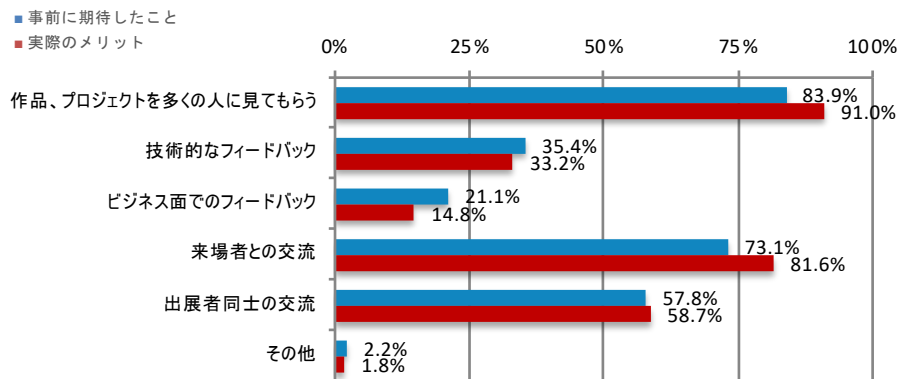
Make:

Maker Faire Tokyo 2018(2018年8月実施)出展者アンケート (Webフォームからの回答) および出展・協賛申込情報より／割合は未回答者を除く

■08. 出展区分カテゴリー (N=575、スポンサー含む)

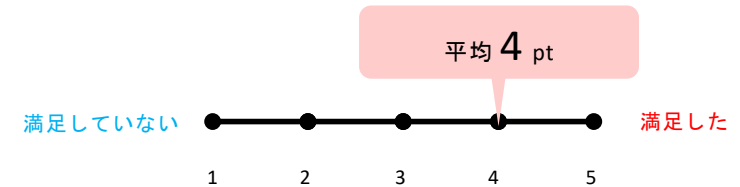


■09. 出展して得られたメリット (N=223、複数回答)



その他 : makerとしての称号が貰えた感覚があり、自分を誇らしく思えた／来場者がSNSにアップしてくれたことで、自分の作品をさらに多くの方に見ていただくことができた／売り上げが得られた／大勢の来場者からアドバイスをいただけて良かった

■10. スポンサー : 今回の出展の満足度 (5段階評価)



"I hope you can see what makes Maker Faire Tokyo special are the Japanese makers. They combine technical skill with a very playful mindset that I find engaging and fun."

By Dale Dougherty, the Founder of Maker Faire

Maker Faire Tokyo 2019 概要

Confidential

Make:

名称： Maker Faire Tokyo 2019（略称：MFT19）

会期： 2019年8月3日（土）12:00～19:00、8月4日（日）10:00～18:00（予定）

搬入日...8月2日（金）午後、8月3日（土）午前、出展者懇親会...8月3日（土）夜

会場： 東京国際展示場 西3・4ホール

主催： 株式会社オライリー・ジャパン

来場者： 物作りや新しいテクノロジーに関心を持つ幅広い年代の方。STEAM・教育に関心のある家族連れ、IT・製造業のエンジニア職、工学・情報・デザイン系学生など

想定参加人数（2日間計）： 来場者数 24,000人／出展者数： 420組

協賛： Makeの精神を理解し、支援したいと考えるMakerムーブメントと親和性のある企業

入場料： ＜前売＞ 大人 1,000円、18歳以下 500円（税込）

＜当日＞ 大人 1,500円、18歳以下 700円（税込）

*小学校未就学者、障がい者手帳所持者は本人及び付き添いの方お一人まで無料

*教育機関向け来場プログラム予定

ウェブサイト： <http://makezine.jp/event/mft2019>（4月公開予定）

Maker Faire Tokyo 2019 会場図

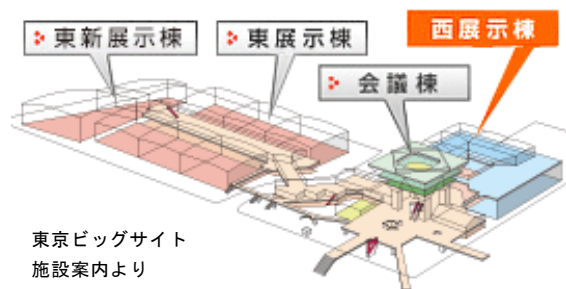
Make:

西3ホール 展示面積: 4,680 m²
西4ホール 展示面積: 6,840 m²

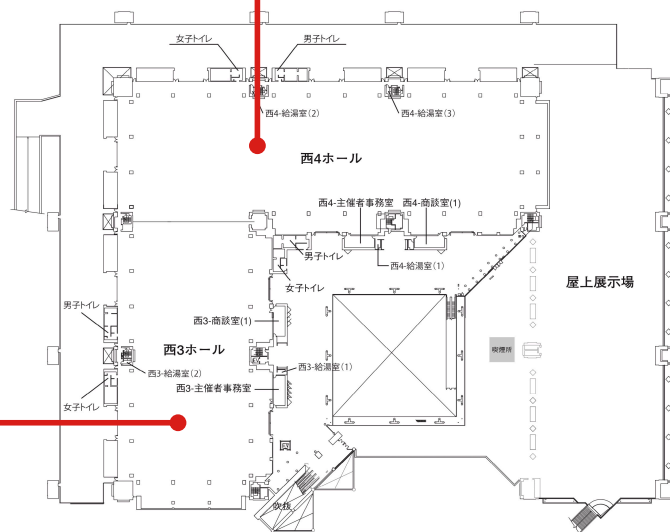
※2018年

西1ホール 展示面積: 8,880 m²

西2ホール 展示面積: 8,880 m²



東京ビッグサイト
施設案内より



○「作る人」の裾野を広げる

⇒スポーツと同様に裾野が広がることで、全体、そしてトップのレベルも向上する

- ・体験型企画（ハンズオン）で、家庭や学校ではできない「作る体験」を提供
- ・先進的、ユニークな取り組みの発表（プレゼンテーション）で「作ることの楽しさ」を多くの人と共有
- ・「企業内メイカー」の交流を促進。現場のエンジニアを活性化
- ・さまざまな企業、コミュニティとのコラボ企画を実施。Makerの「ハブ」としての位置付けを確立させる
- ・東京、京都、大垣（2020年）、つくば（2020年）、そして「その次」へ、Makerの交流の場を全国へ広げる

○Maker Faire Tokyoにしかできない「教育」への注力

- ・出展する大人の「本気」を見せることで、子どもたちの「やってみたい！」と思う気持ちを刺激する
- ・STEAM教育の実践者が多数出展。各種のツール（ハードウェア、ソフトウェア）とそれらを使いこなしたユニークな作例で、子どもたちに「自分で作ることの楽しさ・可能性」を伝える
- ・「作る力」は「生きる力」をテーマに、『子どもが体験すべき50の危険なこと』『退屈をぶっとばせ!』『生き物としての力を取り戻す50の自然体験』などの書籍連動企画を実施

○「Makerだからできること」、「いま必要なMake」を参加者と考える

- ・モビリティ、アシスティブテクノロジー（障害を持った方や介護のためのテクノロジー）の出展を促進
- ・AI、ロボティクスなどの「ハイテク」、フード、農業などの「ローテク」の双方で、新しい出展を促進

スポンサーやコミュニティとのコラボレーションにより

主催・共催企画イベントもよりパワーアップ

(現時点の企画例。予定は変更される場合があります)

[継続開催予定]

- Nerdy Derby (デザイン思考に基づいた自作カーレース)
- Maker Classroom
- Make: Activities (体験教育エリア)
- DIY MUSIC
- Learn to Solder (ハンズオンコーナー内)
- ミニヘボコン
- Tinkering Space for KIDS
- micro:bit コンテスト
- こどももんだいかいけつアイデアコンテスト
- ダンボールエリア

[新規開催予定]

- 木育エリア
- ツール体験エリア
- STEAMツール体験エリア



協賛のご案内

Maker Faire Tokyo は「Maker」が参加する、国内において最大級のイベントです
イベント運営およびMakerの出展は、多くの協賛社のご支援によって実現しております

本イベントへの協賛を通じ、MakerムーブメントやMakerの皆様に対する支援を賜るとともに、日本全国、海外から集まる出展者や、物を作ること・最新のテクノロジーに関心を持つ来場者が一堂に会する機会を活用いただければ幸いです。

1. Makerコミュニティに対し、貴社及び貴社商品を認知させることができます

展示だけでなく、ステージでのプレゼンテーション、ワークショップエリアなど製品や技術をアピールする機会をご用意しています。コアユーザーと直接コミュニケーションをとることができるMaker Faire Tokyoでは、プロトタイプや新サービスを実演し、意見、反響を探る作り手・企業も多く見られます。また、近年はこれから物作りを始めたいエン트리ユーザーの来場も増加、新規層向けの製品を訴求することも可能です。

2. 「Makerを支援する」という姿勢を国内外に広く訴求、ブランドイメージの向上につなげます

個人のユニークな展示に加え、近年は企業のMaker向け製品発表も行われ、国内各種メディアから高い注目を集めています。また、米国Make:を始め、海外ネットワークや国外のMakerコミュニティからの視察、取材も増えています。

3. 新しいパートナーシップ／プロジェクトの可能性が広がります

Maker Faire Tokyoで出会い、新しいプロジェクトや交流が始まるなど、Makerや出展企業間のコラボレーションが生まれる場でもあります。初日は出展者限定の懇親会も予定。情報交換の機会としてご活用いただけます。



協賛実績

Make:

過去のご協賛企業（一部・順不同）



■ユーザーコミュニティや社内Makerの作品紹介



KDDI：au未来研究所と鹿島アントラーズFCのコラボハッカソンでの成果物の展示



タカハ機工：ソレノイドコンテストの入賞作品や社員制作の応用作品の展示



デアゴスティーニ・ジャパン：「マイ3Dプリンター」ユーザーコミュニティの作品展示



東芝：「FlashAir」開発者コミュニティの作品デモや使いこなしを解説した同人誌の配布

■新製品の先行販売、テストマーケティング...事務局と同時リリース配信の連携も



スイッチサイエンス・micro:bit財団：日本での製品ローンチ発表、デモ、先行販売



タミヤ：「カムプログラムロボット」のデモ、先行販売



セメダイン：「フレキシブル導電性接着剤」を限定販売、テストマーケティングに活用



toioプロジェクト：製品化前のプロトタイプデモを行い、フィードバックを収集

“自由な発想を持つお子さんが多く参加されているのが印象的でした。
普段クラフト系のワークショップなどを行うのですが、
親御さんの意見が強くお子さんが自由にできていないシーンを目にします。
それがない方々が参加されているのだなという印象でした。”

Maker Faire Tokyo 2017 出展者のアンケートより

“Make文化を起点に人の交流が発生したり、仕事に繋がったり（中略）上層部の方に
見ていただいたり想定外の良いことが起こりました。また、メンバーも終了2日後に
何かインスピレーションを得て仕事に繋がる話をくれました。
想定していた以上の効果がでて、もっともっと何かやってみたい気持ちが膨らみました。”

Maker Faire Tokyo 2017 スポンサーアンケート「出展の感想」より

協賛・展示事例

Make:

■実験的な取り組みの成果発表、コラボレーション



karakuri products：社会実装実験のためのコミュニケーションロボットモデル展示



ローランド ディー.ジー.：IAMASとの共同研究
Arduino装着可能な3D切削加工機「SRM-20」

■教育企画への支援・協力



マクニカ：定番ハンズオンはじめてのはんだづけ体験「Learn to Solder」への協賛



MESHプロジェクト：IoTを使った様々な競技を体験「Make: Sports Challenge」の企画運営

“若い世代、これからの世代、好奇心旺盛な世代、
今までないものを生み出したいと企んでいるすべての人たちに
弊社製品の存在を知らせたいと思いました。”

Maker Faire Tokyo 2017 スポンサーアンケート「協賛の目的」より

■プレゼンテーション／ワークショップ／ハンズオン



オートデスク：米国本社CEO（当時）が来日、海外のMakerを取り巻く環境について紹介



littleBits（コルグ）：「littleBitsでドROIDサッカー対決をしよう！」小学生向けワークショップ

■機材協力・出展者サポート



白光：出展者のための「はんだ修理PIT」へ機材協力。社員の方による技術アドバイスも



セメダイン・デジタルハイク：デザインワークショップ「Nerdy Derby」への資材提供

“来場者の皆様にとっても興味を持っていただき、
有意義なコメントを沢山頂戴いたしました。
なかなか会えない海外のVIPやパートナーさんとも気軽にお話しができ、
コラボのきっかけをいただきました。”

Maker Faire Tokyo 2016 スポンサーアンケート「出展の感想」より

協賛プラン

Confidential

Make:

※価格はすべて税別

プラン	PRESENTING SPONSOR（2社）	PLATINUMSMITH SPONSOR	GOLDSMITH SPONSOR	SILVERSMITH SPONSOR	COPPERSMITH SPONSOR	STARTUP SPONSOR（※1）	（ご参考） 企業出展
協賛料	要問い合わせ	要問い合わせ	要問い合わせ	要問い合わせ	要問い合わせ	要問い合わせ	10万円
ロゴ掲示（プログラムガイド・ウェブ・会場サイン）	特大 イベントタイトル掲示	大	中	中	小	小	なし
展示スペース（mm）	8,400×8,400 相当	8,400×4,200	4,200×4,200	4,200×2,100	2,100×2,100	2,100×2,100	2,100×2,100
プランに含まれる備品	なし（備品レンタル可）				長机1本・椅子2脚（追加レンタル可）		長机1本・椅子2脚
プレゼンテーション・ワークショップ（※2）	オプション 20万円						申込可 出展者枠で選出
スポンサータグの提供（※3）	40枚	30枚	20枚	10枚	10枚	8枚	4枚 出展者タグ
招待券の提供（※4）	50枚	40枚	30枚	20枚	10枚	8枚	なし
出展者懇親会招待券の提供（※5）	8枚	4枚	2枚	2枚	2枚	2枚	なし
電源（※6 コンセントは全ブースに設置）	①事務局によるコンセント設置／ ②出展者による2次幹線工事より選択			①事務局によるコンセント設置			
電気工事費・使用料（※6）	別途1万円～ 一次側幹線工事費＋電気使用料＋コンセント追加費が必ずかかります（費用や自社工事する場合は※6参照）						なし
インターネットの使用	有線LANネットワーク利用（有料）は、東京ビッグサイトへのお申し込みとなります。協賛申込完了後に、窓口をご案内いたします						なし

※1: 社数限定でSTARTUP SPONSORを募集します。[該当条件] 業務内容やプロダクトがMaker Faireの趣旨に沿った企業であること/創業5年以内の企業であること (イベント開催時) /従業員数が10名以下であること/資本金3,000万円未満であること/年商1億円以下であること。/申込後に審査がございます。

※2: [協賛申込時に申し込み] プレゼンテーション・ワークショップの枠には限りがあり、先着順の受付となります。実施詳細・規定は「協賛募集要項」をご覧ください。

以下、追加のタグ・招待券は6月の「出展内容申請」時にお申し込みいただけます。

※3: 搬入出・会期中会場への入場にはタグが必要です。追加スポンサータグ: 前売・当日販売価格 1枚926円、施工業者さま向け搬入出タグ (搬入出時のみ入場可): 10枚7,000円 (予定)。

※4: 一般来場者としてご入場いただける招待券です。1枚につき1日限り2名様にご入場いただけます (2名が同時に入場する場合に限り)。追加招待券セット: 10枚7,000円。

※5: 8/3 (土) の夜に開催される出展者懇親会の無料入場券です。追加参加の場合は別途実費を申し受けます。

※6: ①②いずれかの工事を選んでいただき、会期後に請求をさせていただきます。(税別) ①事務局による設置: 幹線工事費 (2,000円) + 電気使用料 (1kwごと8,000円) + コンセント追加費 (1ヶ所2口ごと100V: 2,800円、200V: 15,000円) ②出展者による2次幹線工事: 電気使用量 (1kwごと8,000円) ※各島ごとに1~2個の分電盤が設置されます。2次工事範囲は分電盤以降となります。

■費用が別途かかるもの

備品レンタル/追加タグ・招待券/有線LANネットワーク利用/床工事/オプションメニュー

展示スペース

Make:

プラン	PRESENTING SPONSOR	PLATINUMSMITH SPONSOR	GOLDSMITH SPONSOR	SILVERSMITH SPONSOR	COPPERSMITH SPONSOR	STARTUP SPONSOR	(ご参考) 企業出展
展示スペースの配置	最重要地へ配置 申込順と事務局内の検討により決定			重要地へ配置 事務局内の検討により決定			事務局内で決定
変形スペース・壁面指定 (オプション)	事務局と相談のうえ決定 (変形見積)		指定可 (壁面各5万円税別/変形見積)		指定なし		

Presenting Sponsor

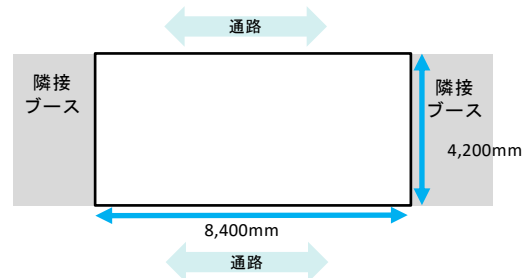
Prime location

8,400mm×8,400mm相当

スペースレイアウトは事務局と相談のうえ決定

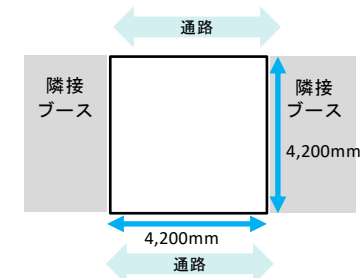
Platinumsmith Sponsor

Important location



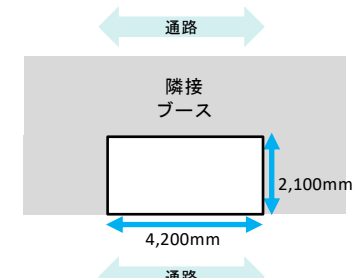
Goldsmith Sponsor

Important location



Silversmith Sponsor

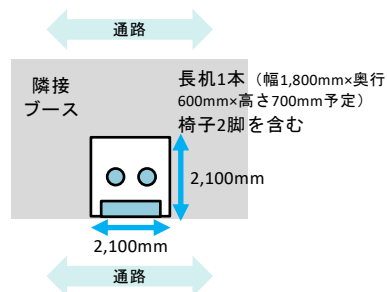
Good location



Coppersmith Sponsor

Startup Sponsor

Good location



■壁面スペースのご指定

会場の壁面を背にしたスペースをご指定になる場合は、壁面スペース指定料を申し受けます。

- ・ Goldsmith Sponsor/Silversmith Sponsorのみ
- ・ 先着順にて受付・数に限りあり
- ・ 低天井で若干暗くなります。照明のご用意をお願いいたします

■変形スペースのご要望

通常以外の形状のスペースを希望される場合は、変形スペースレイアウト費用ならびに追加スペース料金 (別途見積) を申し受けます。

- ・ Silversmith Sponsor以上

■他出展者との隣接・共同展示のご要望

スポンサー同士の隣接は、各々申請いただければ調整可能です (先着順)。スポンサー出展エリア内で、他のMaker (企業、団体、個人) との隣接はできません。スポンサー展示スペース内で他の企業、団体、個人が共同展示を行う場合は申し込み時に必ず明示ください。

ポリシー詳細は「協賛申込要項」を参照ください。

■展示スペースの注意点

- ・ 装飾や出展にあたっての規定は「協賛募集要項」および「スポンサーマニュアル」をご確認ください。
- ・ 通路に接している面はスペースの配置により増える場合があります。
- ・ スペース内での展示となります。通路での誘導、アンケートなどはご遠慮ください。

その他メニュー・協賛 [オプション]

Make:

ご要望に応じて活用いただける、各種オプションメニューをご用意しています。（申込対象は協賛社のみ、価格はすべて税別）

■プレゼンテーション

20万円

時間：20分間

参加定員：100名程度（予定）



■ワークショップ

10万円：50分／20万円：110分

時間：50／110分間より選択（設営・撤収含む）

参加定員：10名～15名程度（予定）



■Maker Classroom

10万円～

学生や教員向けの企画、教育ツールを使ったワークショップなど



■ハンズオンコーナー

5万円～

家族連れに人気の、物作り体験エリアへの協賛・協力



■Maker Garage

- Maker向けツールの展示エリア。工具／機材／素材などの出展を歓迎

■出展者懇親会スポンサー（8/3夜開催）60万円～

- 特典：懇親会会場でのロゴサイン掲示、懇親会スポンサーとして5分までのショートプレゼン、参加者への配布物1点可

■ユーティリティスペース（バックヤード／商談室など）※30万円

※仕様例での参考費用。追加備品、仕様によってお見積り。設置場所は事務局にて調整いたします ▼仕様例：間口2,970mm*奥行2,970mm*高さ2,700mm、システムパネル／鍵付きドア／蛍光灯2本／コンセント1か所2口（電気1kw込）

■プログラムガイド広告 ※要見積

- 会場で配布するプログラムガイド内の広告スペースを提供いたします

■Nerdy Derby／ドローンレース／DIYミュージックライブ ※要見積

- 特別企画への費用、機材、技術サポートを募集
- 特典：協賛内容に応じたエリア内ロゴサインの掲示、実施レポート提供、ドローンレースはデモンストレーション枠提供（別途相談）

■教育機関・学生来場スポンサー 一口5万円／50人分

- 来場希望の教育機関へ招待券を配布
- 特典：対象者には協賛社として出展内容などご紹介

■インフラ／設備スポンサー ※要見積

- エアコン／会場ネットワーク／電気（発電）／チャージャーブース／来場者休憩スペース設備／フード／ドリンクなどのサポート

■配布物（印刷物／グッズ）1点8万円

- 来場者が自由に持ち帰ることができる配布物を、エントランスに設置
- 印刷物は16P・サイズA4まで、部数は5,000部まで
- グッズの場合はサイズ・配布数要相談

プロモーションプラン [オプション]

Make:

Maker Faire Tokyo出展の効果を高めるプロモーション施策をご提案します。お気軽にお問い合わせください。（別途見積）

■ニュースレター（広告エリア） 不定期メール配信

Make: Japan ニュースレター

MFT出展・
来場者プロ
グ読者

配信予定：
4月上旬（サイト公開）
7月中旬（直前紹介）
・10万円～（税抜）/回

[PR]

会期前のイベントやキャンペーン告知、当日の出展内容のPRに最適

■イベントサイト（PRエリア）



会期前後
1ヶ月
30万
PV

1ヶ月掲載（トップのみ）
・10万円～（税別）/枠
・枠には限りあり先着

※デザインはイメージです

会期中最も注目！
ワークショップ開催や限定販売など集客に結びつくメニュー

■makezine.jp（バナー広告・タイアップ記事）



月間
20万
PV

バナー：1ヶ月掲載
・大：20万円（税別）/枠
・中：15万円（税別）/枠
・枠には限りあり先着

タイアップ：1ヶ月上部掲載
・要見積
・SNSでの記事告知含む

紹介記事や当日レポートなど製品や取り組みの詳細を伝えるコンテンツを提供

出展スケジュール


※各種書類等提出スケジュールは変更になる場合がある点ご了承ください。

Make:

月

運営スケジュール

出展者準備

3月	イベント、協賛募集概要のご案内 出展実績企業・お問い合わせ企業向け 優先申込開始	
4月	4日（木）協賛 一般申込開始 ・ 申込内容の確認、出展者との調整 15日（月）協賛申込 一次締切 ・ 申込企業へ出展費用の請求書発行	ウェブへのロゴ掲載 スポンサーロゴは 申込順で配置
5月	8日（水）協賛申込 二次締切 ・ ブース施工を事務局に委託する出展者と施工案の調整、見積	
6月	18日（火）各種申請・ブースレイアウト締切 申請内容のとりまとめ・所轄団体への申請 ・ 申請内容を確認のうえ、必要に応じて出展者と申請書やレイアウトを調整、安全対策の提案 ・ 全出展内容を取りまとめ、会場・消防署・保健所へ申請 ・ 電源工事設計発注 出展者限定のキックオフイベント開催 ウェブサイト上で出展者情報を公開 マニュアル・スポンサータグ・招待券の発送	

出展計画、申込手続きの確認

- ・ イベントに合わせたプロモーション、マーケティング計画
- ・ スポンサープランの検討
- ・ 事務局との共同企画（オプション）の検討、相談

協賛申込手続き（3～4月）

- ・ 募集要項に沿った出展内容、名義、掲載ロゴを確定の上、申込手続き
- ・ 事務局との共同企画（コンテストや子ども向けの体験教室など）やリリース連携（新製品発表、プレゼンテーションなど）についての調整

出展費用の入金（5月末）

ブース・運営設計（5～6月）

- ・ ブースのレイアウト、装飾、備品、配布物、当日の人員配置などの検討
- ・ 事務局と出展位置の確定

各種申請・ブースレイアウト提出（5～6月）

- ・ ブースレイアウト図、出展内容、持ち込み備品、必要電源の申請
- ・ 危険物や食品の持ち込み申請
- ・ スポンサー入場用タグや招待券の発注

イベント出展についての情報発信

- ・ ウェブサイトやメールでの出展告知、リリース配信準備
- ・ 招待券やリーフレットの配布

インターネット回線の申込（6月末）

マニュアルを確認のうえ、搬入出スケジュールを計画

出展スケジュール

※各種書類等提出スケジュールは変更になる場合がある点ご了承ください。

Make:

月

運営スケジュール

出展者準備

7月

12日（金）備品申込・搬入出申請締切

備品、搬入出情報の協力会社への申請

- ・ レンタル備品の発注
- ・ 搬入出について物流・誘導計画作成

危険物・食品申請の出展者へのフィードバック

- ・ 消防署や会場による査察対象の出展者へ通知

直前リリース・取材手配

- ・ 全プログラムと見どころのリリース配信
- ・ 当日の取材調整

8月

2日（金）搬入・施工

3日（土）・4日（日）**Maker Faire Tokyo 2019 開催**

来場者・出展者アンケート速報

オプションメニュー、電気・施工、備品追加、スポンサータグ、招待券、搬入出タグ費用の請求

9月

開催報告書の配布

備品申込・搬入出申請

- ・ 事務局からレンタルする備品の申込
- ・ 搬入出方法の申請（車両搬入の場合は車両証を配布）

自社施工の装飾造作や電気工事の発注

当日参加スタッフ・協力会社とのオリエンテーション

- ・ マニュアルの共有、搬入出の方法や時間の確認
- ・ スポンサータグの配布
- ・ 当日の記録計画

直前リリース・取材手配

- ・ リリースの配信
- ・ メディア取材手配、イベントのプレス登録依頼

搬入・施工・出展準備

- ・ 消防署・会場による査察対応

効果測定と振り返り（8～9月）

- ・ 物販売上、回収アンケート、配布物・ウェブサイトやアプリへのアクセス数、来場者の声などの評価分析
- ・ 出展内容の紹介ツールやレポートの作成・公開（配布）
- ・ 当日参加スタッフ・協力会社・事務局との振り返り
- ・ 事務局へのアンケート提出

会期後請求分の入金（9月末）

安全なイベント運営のため、消防法、東京ビッグサイト、Maker Faire Tokyo の出展規定・禁止事項を遵守してください。
出展内容やブース設営については、事前に事務局に申請いただき、確認をさせていただきます。

安全対策の詳細と申請方法は「協賛募集要項」「危険物申請のご案内」「スポンサーマニュアル」をご確認ください。

■対象

装飾・仕切り・展示台・敷物などに使用する布や木材、
工事シート（例：ターポリンシート、テーブルクロス、
バナー、パネル、壁、カーペット、人工芝など）

〔裸火〕 炎や火花を発するもの、発熱部が外部に露出するもの（例：
はんだごて、レーザー加工機など）

〔危険物品〕 引火性液体、アルコール類、指定可燃物、可燃性ガス、
火薬など（例：ガソリン、軽油、紫外線硬化樹脂、UVインク、
フラックス洗浄剤、エタノール、リチウムイオン電池など）

〔水素〕 水素を使用した作品の展示・実演に関してはすべて持ち込
みを禁止

天井及び屋根（布、シートなどを貼り付けたものも含む）の設置
食品の展示、販売、提供、調理、口の中に食品を入れる実験

■対策

展示に使用する合板・ベニアは、すべて浸漬加工による防火処理を施し
て、防火表示マークを見やすい箇所につけて下さい。旗・幕・カーテン
、テーブルクロス、カーペットなどの布類は、すべて防火処理を施して
、個々の布に指定の防火表示マークを見やすい箇所につけて下さい。（
布類の防火加工は、クリーニング店に依頼することが可能）

持ち込みは必要最小限とし、各対象の数量・容量、データシート（MSDS
）、ブース内での保管・使用位置、使用用途、安全対策などを提出して
下さい。申請がなかった物品の持ち込みはできません。

本イベントは、個人の出展・自作品の展示が多く、会場・消防署より慎重
に出展物の確認が行われます。通常の企業展示会とは申請範囲が異なる
場合があることをあらかじめご了承ください。また、開催前日もしくは
初日に消防署の査察が行われます。申請と展示が異なる場合は、撤去
やイベント全体の中止を求められる可能性があります。

事務局を通じて事前の届出を行います。実施するために必要な設備や施
工に実費がかかります。

協賛申込方法・お問い合わせ先



お申し込み

一次締切：4/15（月）

二次締切：5/8（水）

- 希望者へMaker Faire Tokyo 2019の申込書類やフォームをお送りします。お申し込みには以下の手続きが必要です。

- 「協賛申込書」（Excelファイル）に記入のうえ、メールまたは郵送で提出
- 「ロゴデータ」をメールで提出（会場サインにも掲載するため、ai、epsなどベクター形式推奨）
- 「スポンサー情報登録フォーム」（オンラインフォーム）より、出展内容や公開情報を提出
- Startup Sponsor（初回）の場合は、企業概要・製品概要がわかる資料をメールまたは郵送で提出

協賛費用のお振り込み

発行：3月末～

支払期日：5月末

- お申し込み内容についてMaker Faire ガイドラインに沿って確認を行い、協賛および出展内容を受諾した出展者に請求書を送付します。
- 一旦お振り込みいただきました協賛費用は、事務局がご協賛を辞退する場合を除き、理由の如何に関わらずご返金することはできませんのでご了承ください。

ウェブサイトロゴ掲載

締切：4/15（月）、5/8（水）

- 請求書発行後、順次、Maker Faire Tokyo 2019のウェブサイトにもロゴを掲載します。
- 各締切から掲載までは、およそ2週間かかります。掲載時期を遅らせるなど調整が必要な場合は、事前にご相談ください。
- 掲載ロゴは、各プランにつき1つです。

お問い合わせ先

株式会社オライリー・ジャパン Maker Faire Tokyo 事務局 スポンサー担当

E-mail sponsors@makejapan.org